



障がいのある人の雇用に取り組む
「京都はあとふる企業」です。

株式会社 山本清掃

(京都市伏見区)



【主な事業内容】一般廃棄物処理業、資源リサイクル業、工業用ウエスの製造等
【障がいのある人の主な仕事】繊維製品の分別・裁断、圧縮・梱包、資源ごみの選別など

【障がい者雇用の経緯】

20年近く前に、同業者で障がい者が生き生きと働く姿を見て感動し、社会的責任を果たし、誰もが生き生きと働き活躍できる職場を目指して、聴覚障がい者を雇用しました。現在、本社で1名、2010年に立ち上げた京丹波ウエス(京丹波町、古着リユース・リサイクル工場)で5名の障がい者が働いています。京丹波ウエスは「環境と福祉の融合」を理念とし、今後、雇用を推進していく予定です。



【工夫していること】

本社の1人は聴覚障がい者で、携帯アプリを利用した筆談で意思疎通を図っています。また、安全に配慮し、パトライトの活用や人と作業車両の動線を完全に分離をしています(京丹波ウエスも同様)。

京丹波ウエスでは、実習を経て、トライアル雇用の中で、仕事の内容を理解してもらいます。担当者はマニュアルを用いて、一緒に作業しながら教えます。注意の必要な作業や場所は、最初に丁寧に教えて、パートさんが中心になって各工程をローテーションで回ります。障がいのある人は、特性を考慮し特定の作業を担当しています。古着の裁断も多種多様で経験を積む必要があり、時間はかかりますが、作業しながらゆっくり教えることで、皆しっかりと理解してくれます。パートを含めた周りの従業員は、指導ではなくフォローすることを心がけています。少し込み入ったことを伝える時は、個別面談のような形で時間をかけゆっくりと話します。

特別支援学校や支援機関との連携も大切にし、体験実習等を受入れると共に、バス停までの送迎を行っています。

【Tさんに聞きました】

働いて7年です。支援学校からの実習の時は、仕事で手一杯でしたが、穏やかな人が多く印象が良く、やっていけると思いました。

最初の頃は、仕事を繰り返して見て聞いて時間をかけて覚えましたが、ウエスの圧縮梱包をしています。形を整えるのが難しいです。良い梱包が沢山出来るとモチベーションが上がります。数が少ないと改善点を考えます。イレギュラーなことは上司に相談します。

体力も要る仕事なので、休日はしっかり休み、続けていくことを目標にしています。将来は他の作業にもチャレンジしたいです。

